

夕日とロマンのフラワーアイランド

い え そ ん

伊 江 村



市町村コード	473154	類型	I-0
所在地	〒905-0592 伊江村字東江前38番地		
T E L	(0980)49-2001	F A X	(0980)49-2003
ホームページ	http://www.iejima.org/ieson/		
指定地域	離島・過疎・辺地・農業振興・産業高度・観光促進		

(組織)

(平成29年3月31日現在)

村長	しまぶくろ ひでゆき 島袋 秀 幸 任期 H29.4.27 (1期)	副村長	なしろ まさひで 名城 政 英 任期 H29.5.1 (1期)
副村長	-	教育長	みやざと とくなり 宮里 徳 成 任期 H30.3.31 (1期)

(概要)

県下	23 位
総面積	H28.10.1 耕地 H28.7.15 宅地 H28.1.1
22.78 km <sup>2</sup>	1,090 ha 1,201,980 m <sup>2</sup>

県下	28 位
住基人口	H28.1.1 H27国調人口 H22国調人口
4,700 人	4,260 人 4,737 人
年少人口割合	14.3% (県全体 17.4%) 高齢化率 29.9% (県全体 19.6%)

住基世帯数	H28.1.1 H27国調世帯数 H22国調世帯数
2,217 世帯	1,917 世帯 1,915 世帯

有権者数	H29.3.2 男 女
3,878 人	1,970 人 1,908 人

議長	しまぶくろ よしのり 島袋 義 範	副議長	うちだ たけやす 内田 竹 保
議員	条約定数 現議員数	任期満了日	
	10 9	H30.9.27	
	常任委員会	党派構成	共産 無所属
	総務、財政・公営企業	1 8	- - - - -

沿革	明治41年4月1日 村制施行
-	-
-	-
-	-
-	-

H28.4.1現在	合計	普通会計	特別会計
職員	145 人	115 人	30 人
人口千人当たり職員数	30.85 人	24.47 人	6.38 人
各4.1現在	平成28年度	平成27年度	平成26年度
職員数(普通会計)	115 人	112 人	114 人
類似団体	-	98 (129)	98 (130)
ラス指数	92.3	89.9	89.7

基本構想	H23~H32 中長財政計画 無
基本計画	H23~H32 ( - - )
実施計画	H23~H32 ( 3年計画 1年ローリング )

※類似団体()は修正値。ラス指数の()は国家公務員の給与改定特例法による減額措置が無い場合。

(村の花・木・鳥・魚/名所・旧跡/祭・行事等)

村 花	テッポウユリ	村 木	ガジュマル
村 鳥	-	村 魚	-
名所・旧跡	城山(タッチュー)、湧出、ニヤティヤ洞、シカの化石、具志原貝塚、リリーフィールド		
祭り・行事	一周マラソン大会、ゆり祭り、海神祭、大折日、旧盆エイサー、民俗芸能発表会、チューパンジヤ祭り		
名産・特産	伊江島牛、島らっきょう、ピーナツ菓子、もずく、紅芋、トウガン、麦、イエソダ、黒糖		
姉妹都市	-		
そ の 他	滋賀県高島市児童との交換交流会(夏・冬)		

(平成29年度主要事業) (百万円)

区分	事業名	新・継	事業費
補助	伊江村総合運動公園野球場コア整備工事	継続	858
補助	伊江村観光振興事業	継続	137
補助	団体富農地保全整備事業	継続	118
補助	小学校教員宿舍整備事業	新規	30

(今後の主要プロジェクト) (百万円)

区分	事業名	実施年度	事業費
補助	伊江村総合運動公園整備事業	H26~H34	未定
補助	スポーツ交流センター整備事業	H30	541
補助	伊江村住宅建設事業	H30~	未定
-	-	-	-

(広域市町村圏・広域計画)

北部広域市町村圏
-
-

(基地面積) (H28.3末)

米国軍	
基地面積	801.5 ha
市町村面積に占める割合	35.2%
自衛隊	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	-
合計	801.5 ha 35.2%
県面積に占める割合	0.35%

〔教育〕

(平成28年5月1日現在)

区分	施設数	児童生徒数
村立幼稚園	2園	36人
村立小学校	2校	246人
中学校	1校	133人
村立	1校	133人
村立以外	0校	0人

〔医療〕

(平成27年度)

区分	施設数	病床数
病院	0箇所	0床
村立	0箇所	0床
村立以外	0箇所	0床
診療所	2箇所	0床
村立	2箇所	0床
村立以外	0箇所	0床
住民千人当たり病床数		0.0床

〔財政〕

① 決算収支

(百万円)

区分	H25年度	H26年度	H27年度
歳入総額	6,170	6,463	8,294
歳出総額	5,894	6,223	8,025
形式収支	276	240	268
実質収支	210	148	253
比率	9.3%	6.5%	10.5%
積立金	91	112	21
積立金取崩額	100	128	167
実質単年度収支	△ 146	△ 78	△ 41

③ 公営事業会計等における繰入金の状況

(H27年度 百万円)

区分	実質収支	繰入金	うち財源補填的繰入金
国民健康保険事業	19	162	43
老人保健医療事業	0	0	
介護保険事業(保険)	0	0	
後期高齢医療事業	2	18	
区分	実質収支	繰入金	うち基準外繰入
法非適	-	0	0
	-	0	0
	-	0	0
	-	0	0
	-	0	0
法適	上水道事業	1	1
	交通(船舶)事業	113	13
		0	0

④ 歳入の状況 (H27年度 百万円)

区分	金額	構成
地方税	344	4.1%
地方譲与税	44	0.5%
地方交付税	2,069	24.9%
普通交付税	1,830	22.1%
特別交付税	239	2.9%
国庫支出金	2,065	24.9%
県支出金	1,528	18.4%
地方債	809	9.8%
その他	1,435	17.3%
歳入総額	8,294	100.0%

〔産業〕

① 産業別就業者数 (H22四半期)

区分	就業者数	構成比
第1次	833人	37.7%
第2次	250人	11.3%
第3次	1,125人	50.9%
合計	2,210人	100.0%

〔福祉〕

区分	施設数	収容定数
保育所(H28.4.1)	2箇所	150人
村立	2箇所	150人
村立以外	0箇所	0人
生活保護率(H27年度平均)		15.08人
人口千人当たり		

② 村内純生産

(H25年度実数)(百万円)

分類	純生産	構成比
農林	1,410	15.9%
水産	132	1.5%
鉱・製造	240	2.7%
建設	2,190	24.8%
電気ガス水道	37	0.4%
運輸・通信	438	5.0%
卸売・小売	669	7.6%
金融保険不動産	370	4.2%
サービス	1,666	18.8%
政府サービス生産者	1,401	15.8%
民間非営利団体	289	3.3%
合計	8,842	100.0%

② 主要指標

(百万円)

区分	H25年度	H26年度	H27年度	順位	県平均	市平均	町村平均
財政力指数	0.16	0.17	0.17	29	0.35	0.51	0.29
標準財政規模 a	2,262	2,282	2,409	28	333,767	242,473	91,294
経常収支比率	78.3	81.7	75.4	4	85.3	86.4	82.6
人件費	34.5	34.7	31.6	31	23.4	22.6	25.4
扶助費	3.3	4.5	3.0	13	14.2	17.1	6.8
公債費	12.4	13.5	14.3	16	14.4	14.9	13.3
物件費	18.2	17.5	15.0	22	14.0	13.6	15.2
その他	9.9	11.5	11.5	7	19.3	18.2	21.9
実質赤字比率	-	-	-		-	-	-
連結実質赤字比率	-	-	-		-	-	-
実質公債費比率	4.0	3.9	3.8	3	8.7	9.3	6.9
将来負担比率	-	-	-		31.9	45.5	-
税収税率	92.9	93.8	95.7	10	95.5	95.7	94.7
現年課税分	98.6	98.4	98.9	6	98.5	98.6	98.3
滞納繰越分	22.9	28.1	34.2	19	36.2	37.6	31.7
債務負担行為額 b	0	0	0				
b/a %	0.0	0.0	0.0				
地方債現在高 c	3,643	3,703	4,318				
c/a %	161.1	162.3	179.3	27			
積立金現在高	3,810	3,771	3,787				
財政調整基金	1,788	1,773	1,627				
減債基金	700	702	706				
その他特目基金	1,321	1,297	1,455				
住民1人当たり税負担(円)	70,398	71,893	73,239	7			
自主財源比率	23.0	22.2	19.5	31			

④ 歳出の状況 (H27年度 百万円)

区分	金額	構成
人件費	907	11.3%
物件費	1,101	13.7%
扶助費	317	4.0%
補助費等	338	4.2%
公債費	364	4.5%
普通建設事業費	4,265	53.1%
補助事業費	3,772	47.0%
単独事業費	483	6.0%
その他	733	9.1%
歳出総額	8,025	100.0%

〔行政の特色〕

本部半島から約9キロの距離に位置する一島一村の離島である。島の35%を米軍基地が占め、農漁業主体の産業構造と歴史・文化の成り立ちは、沖縄の縮図と言われる。村では、その自然条件を活かした農業・漁業に加え、近離島を売りものに「観る」観光から「体験」する観光に結びつけ、「滞在型」観光リゾートづくりを積極的に推進している。